

五年生の国語学習プリント⑥

名前

●言葉のつかい方「漢字の成り立ち」③4ページ

【学習のめあて】

漢字の由来、特ちょうなどを理解しよう。

- ①まず、教科書三四ページの上の段を読みましよう。
- ②漢字の成り立ちには、大きく分けて次の四つものがあります。

①目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。(例)馬・山・門・火・手・川など  
 「のような文字を」

**文字**

といいます。

②目に見えない事がらを、印や記号を使って表したもの。(例)上・下・中・三など  
 「のような文字を」

**文字**

といいます。

③漢字の意味を組み合わせたもの。(例)鳴・信・林・休など  
 「のような文字を」

**文字**

といいます。

④音を表す部分と、意味を表す部分を組み合わせたもの。(例)草・持・晴・銅など  
 「のような文字を」

**文字**

といいます。(一番たくさんあります)

③次の一線の漢字は、④に当たるものです。どの部分が音で、どの部分が意味を表している  
 でしょうか。漢字辞典(無い人は国語辞典)でたしかめましよう。

- (1)許可をえて、河口の近くでつりをする。 音)可 (意味)釣
- (2)銅像の修復が終わった。 音) (意味) ( )
- (3)来週、防災に関する点検がある。 音) (意味) ( )
- (4)案内板の前の車を、直ちに移動してください。 音) (意味) ( )
- (5)絵画コンクールで入賞する。 音) (意味) ( )
- (6)貿易に関する国際会議が開かれた。 音) (意味) ( )

④次の一線の漢字は何文字ですか。また、成り立ちを漢字辞典で調べましよう。

- (1)愛犬 ( )文字
- (2)年末 ( )文字
- (3)説明 ( )文字
- (4)清潔 ( )文字